

コード	103030108
記入日	H26.5.16

新規事業評価表【事前評価】

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	前田 芳朗
担当者	中多 育郎

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	若松港ターミナルビルエアコン設置事業
----------	--------------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	1
施策コード	103	施策名称	しさを支える交通基盤づくり	項コード	1
基本事業コード	10303	基本事業名称	港湾の整備	目コード	1
事務事業コード	1030301	事務事業名称	ターミナルビル特別会計事業費	細目コード	特別会計
関連計画		法令・条例規則等			

計画 (PLAN)

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標
(対象1) 町民	(対象指標1) 21,262人 (H26.5.1現在)
(対象2) 施設利用者	(対象指標2) 10,111人 (年間)
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標
若松港ターミナルビルの待合所 (約480m) を快適な場所にできる機能を要する空調設備を設置する。	(活動指標名称) (活動指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	① 空調設備工事 1.0式 3台設置 平成26年度
②	
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標
利用者 (年間10,111名) にとって、定期バス・デマンドタクシーの待合所として、空調機能を備えることによって地域交通の快適な利便性の向上を図る。また、今年度より新に開設した歯科診療所には、スタッフの休息室がなく、昼休みには患者 (4月の実績延401人) の待合室を使用している状況で、おのずと、昼からの患者の待合として、ターミナルで待つことになっています。しかしながら、既存施設には空調機能がなく、他のターミナルビルと比較しても、快適な空間を提供しているとはいえない状況です。	(成果指標名称) (成果指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	① 利便性及び快適性の向上 - - 平成26年度
②	

実施 (DO)

	単位	全体計画	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度以降
		H 26 ~ H							
活動指標	① 式	1.0	1.0						
	②								
成果指標	①								
	②								
総事業費 C (A+B)	千円	2,926	2,926						
直接事業費 A	千円	2,226	2,226						
人件費 B	千円	700	700						
内 訳	従事職員数	人	0.1	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の財源内 訳	国補助金	千円							
	県補助金	千円							
	起債	千円							
	その他	千円							
一般財源	千円	2,926	2,926						

評価 (CHECK)

評価項目		内 容
1 次 評 価	・事業の緊急性・必要性はありますか。	夏場を迎える前に施工すべきである。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	陸上・海上交通及び歯科診療所利用者の待合の場として適切な事業である。
	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	交通・観光・歯科診療所の充実のためには必要なものである。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	利用者（住民、観光客）に快適な場を提供できない。
	・事業費を削減できませんか。（費用対効果）	建物空間に応じた空調設備として削減できない。
	・受益者負担は適正ですか。	公共の待合所としては、受益者負担を求めない。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	類似事業はない。

2次評価	本施設は平成26年7月からはフェリー太古が発着しなくなり、利用者が激減することが想定される。若松歯科診療所の利用者数においても、現状では診療所内で待機できる人数である。本施設の今後の利活用をあらためて協議していく必要があり、現状としては必要性は認められないものと判断する。
------	--

3次評価 住民等の意見	エアコンを設置することは良いと思うが、設置すると同時に、各出入口の修繕を行い、気密性を良くしなければエアコンの効きが悪くなり、エアコンの効が悪いと温度を下げねばならないため、光熱費が高くなる。また、歯科診療所ができたが利用者がすぐ増えた様にも思えないため、もう少し検討された方がよい。
----------------	--

町の対応	2次評価においても判断したが、本施設より発着する交通機関（船・バス等）の利用状況および若松歯科診療所を含めた施設内の利用者数など、本施設の今後の利活用及び住民等の意見にもあった維持管理費など、あらためて協議していく必要があり、現状としては必要性は認められないものと判断する。
------	---

事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			計画どおりに事業を実施する				次年度以降に計画どおり実施する
				事業内容を見直して事業を実施する				次年度以降に計画を見直して実施する
				実施期間を見直して事業を実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する
				事業費を減額して事業を実施する		●	●	当分の間は実施しない
				類似事業と整理統合して実施する				

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。